

## 互いの個性の理解

<p>◆<b>学習のねらい</b> 自分の良いところ、友達の良いところを見付け、学級の一員としての自分に気付くとともに、全員の良いところを学級で生かしていこうとする態度を育てる。</p>	<p>◆<b>教育課程における位置付け</b> 特別活動（保健の学習とも関連させる）</p> <p>◆<b>主な使用教材</b> ・東京都教育委員会「令和3年度東京都道徳教育教材集 小学校5・6年生版 心たくましく」 ・タブレット端末</p>
---	---

### 展開

	学習活動（・児童の発言）	○指導上の留意点
導入 5分	1 「心たくましく」94ページと95ページの詩を読み、本時の学習を知る。	○ 自分らしさとは、自分のよさだけではなく、変えていきたいと思うところも含めて「自分らしさ」であることを伝える。
	もっとかがやく自分をめざそう。	
展開 30分	2 自分の良いところや自分の伸ばしたいところを考へて、「心たくましく」94～95ページに書く。 ・真面目なところ ・字がきれいなところ ・みんなのために活動できるところ	○ 自分で見付けることができない児童や、迷っている児童には、その児童の良いところを教師が伝え、自信をもって記入できるようにする。
	3 学級目標を達成するために生かすことができる自分の良いところや班の友達の良いところについてカードに記入する。	○ 友達の良いところについては、隣の席の児童（もしくは同じ班の児童）について書くように促す。
	4 記入したカードをタブレット端末で撮影し、ロイロノートの提出箱に提出する。	○ 記入したカードは掲示用として授業後に回収することを伝える。
	5 自分が書いたカードについて発表する。	○ 班の他の人が考えた良いところを聞くことで、自分が気付いていなかった良いところにも着目させる。
まとめ 10分	6 本時の学習感想をまとめる。	○ 一人一人が、互いの良いところを認め合うことで、学級が楽しくなることや、学級目標が達成すること、行事などが成功することなどに気付くことができるようにする。
	7 本時の学習感想を発表する。	

### 授業を終えて

#### 1組

自分のことを見つめて考える機会が少なかったようで、自分の良いところを見付ける時に、「特にない」、「分からない」と呟く児童が多かった。しかし、友達の良いところ探しでは、良いところを具体的に書いていた児童が多く、よく友達のことを見ているということが分かる授業だった。学習感想では、「楽しかった」、「友達の教えてくれた自分の良いところをもっと伸ばしたい」、「自分の良いところをたくさん知ることができてよかった」という発言が出た。自分を見つめる機会を、道徳の授業を通して増やしていきたいと感じた。

#### 2組

いじめが起こる原因の一つに、相手のネガティブな面ばかりを捉えてしまい、相手の良さが見えづらくなってしまふということがあげられる。そこで、本授業では児童に「すべてをプラスと捉えて考えよう」と投げ掛け、自分や友達の性格や考え方を全て肯定して受け止めるようにさせた。児童の学習感想では、「今まで考えたことがなかった『人の良さ』を見付けることができたので、これからも『人の良さ』を考えながら生活すると、自分の良いところも更に伸び、友達に対しての考え方も変わってくると思う。」という考えが発表された。今後も継続して友達の良さに気付ける教育活動を展開していきたい。